

国語科学習指導案

単元名「資料の効果についてまとめたことをいかして、伝わりやすい文章を書こう」

教材名「固有種が教えてくれること」「自然環境を守るために」

「【コラム】統計資料の読み方」〔学指要領：知(2)イ、知(3)オ、思B(1)エ、思C(1)ウ〕

令和〇年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時 5年〇組教室

〇〇立〇〇小学校 5年〇組 〇名 指導者 〇〇 〇〇

I 単元の構想

1 単元の目標及び児童の実態

	目 標	児童の実態
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。 <li style="text-align: right;">(2)イ ・日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができる。 <li style="text-align: right;">(3)オ 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な内容をまとめたり、語句の関係を自ら図示して情報を整理したりすることができる児童がいる。 ・読書に親しみ、読書から情報を得られる児童が多い。調べる活動の際に、調査方法として安易にインターネットを選択することがある。
思考力、判断力、表現力等	<ul style="list-style-type: none"> ・引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 <li style="text-align: right;">B(1)エ ・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。 <li style="text-align: right;">C(1)ウ 	<ul style="list-style-type: none"> ・考えの根拠となる文章を引用したり、調べたことを図表やグラフを用いてノートにまとめたりするなど、読み手を意識して、自分の考えを伝わりやすくするために、資料を用いることができる児童がいる。 ・文章と図表を結び付けて読んだり、理解のために論の進め方を意識して読んだりする経験が少ない。
学びに向かう力、人間性等	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書をする児童が多い。 ・言語活動の意義を確認する経験を積み重ね、表現の工夫を日常のコミュニケーションに生かせることを自覚できる児童が増えてきている。

2 評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。 ②日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。 ②「書くこと」において、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫を生かして統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

3 指導及び評価の計画 ※別紙参照

4 言語活動の価値

本単元では、環境問題について、資料を用いて考えをまとめた文章を、隣接する小学校の児童と読み合う活動を行う。児童が総合的な学習の時間において、伝えたいことを伝えきれなかった経験を振り返ることは、「書くこと」の学習に対する必要感の高まりや、表現を工夫することの大切さの自覚につながる。さらに、資料を用いて考えをまとめるという目的意識は、日頃の資料の用い方を振り返ったり、資料を効果的に用いた教科書教材を読む必要感を高めたりすることにつながり、分かりやすく伝えるための書き表し方や論の進め方について考える力を高めることができる。

隣接する小学校の同学年児童を伝える相手として設定することは、明確な相手意識につながる。また、同様の内容を学習し、似たような問題意識や困難さを抱える相手と書いた文章を読み合い、フィードバックを受けることは、文章の書き表し方を問い直し、引用したり、図表やグラフを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を高めることにつながる。

以上のように、単元全体を通して資料を用いて書かれた文章を読んだり、資料を用いて書いたりする活動を行うことは、児童が資料の効果に着目し続けることになり、資料に表された情報と文章に表された情報との関係について理解する力を高めることにつながる。

II 本時の学習（4/10）

1 ねらい 重要だと考える資料とその理由について話し合う活動を通して、文章と図表を結び付けることの効果についてまとめることができるようにする。

2 展開

<p>主な学習活動 予想される児童の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、学習計画を基に本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <p>S：僕は、資料5のおかげで、動物のイメージを持てたよ。資料と文章のつながりが見付かると、要点がまとめやすかったね。</p> <p>S：それでは、資料3や資料4にはどんな効果があるのだろうか。資料3と資料4の効果についても考えられたら、文章を書くときの参考にできそうだね。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><めあて> 資料がどのような効果をもたらすことができるのかまとめよう。</p> </div>	<p>○資料の種類によって効果が違うことに問題意識を持てるように、前時の学習で学んだことを基に、複数の資料についてよさを問いかける。</p> <p>○資料が主張を強めたり、文章を分かりやすくしたりするために用いられるという理解を基に課題解決に取り組めるように、資料を用いるよさに関わる児童の発言を意図的に板書する。</p> <p>○本時の学習への必要感を高められるように、めあての達成が今後の自らの学習に与える影響を問いかける。</p>
<p>2 自分が重要だと考える資料とその理由を話し合う。（35分）</p> <p>S：資料3は気温について、資料4は標高について、それぞれ地域ごとに示しているね。資料3と資料4がなかったら困るのかな。</p> <p>S：日本は、地域によって気温も標高も全然違うのだね。確かに、「豊かで多様な環境」という言葉だけではどのくらい豊かで多様なのかは分からないけれど、資料3と資料4があると、見た目で分かりやすくなるよね。でも、これって固有種に関係あることなのかな。</p> <p>S：そうか。7段落の初めの問いの答えとして、豊かな環境があることを述べているから、資料を使って環境の豊かさや多様さを示す必要があったのだね。</p> <p>S：〇〇さんは資料6と資料7の必要性について考えたのだね。なるほど、資料6と資料7を合わせて見ると、固有種を守るだけではないいけないということが、事実として理解しやすくなるね。</p>	<p>○学びやすい方法を選べるように、学習用端末上のデータと紙による2種類の学習カードを用意する。</p> <p>○多様な視点で資料の効果を考えられるように、児童同士が必要に応じていつでも交流できる座席配置を整える。【別紙参照】</p> <p>○理由の明確さが十分でない児童に対しては、資料の効果に関わる根拠を見いだせるように、自分なりに文章と資料を結び付ける印を付けたり、導入で確認した前時の学習と関連付けたりしている児童との交流を促す。</p> <p>○一つの資料の効果についてまとめられた児童に対しては、課題解決に向かい続けられるように、別の資料の効果と比較するよう促す。</p> <p>○新たな資料の効果に気付けるように、自分の考えと友達の考えを比較できる欄を設けた学習カードを児童間で共有する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆評価項目（思①） 学習カードやノートの記述内容から、「資料の効果について、文章の内容とのつながりを根拠に表現しているか」を評価する。</p> </div>
<p>3 本時の学習の振り返りをする。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返り> S：資料3・4は変化の説明についてより一目で分かりやすくして、それが筆者の伝えたいこととつながっていることが分かった。また、資料6・7のようなグラフは変化を分かりやすくする効果をもっていることが、資料と文章を見比べたり、友達の考えを聞いたりして分かった。自分が「環境問題」についての文章を書くときには、表やグラフなどと文章の内容をつなげて、自分の意見がより伝わりやすくなるようにしたい。</p> </div>	<p>○課題の解決状況を自覚できるように、振り返りの視点を提示する。</p>

(別紙)

3 指導及び評価の計画 (全 10 時間 : 本時第 4 時)

※指導に生かす評価○、評定に用いる評価●

時	学習活動	知	思	態
1	・総合的な学習の時間での「環境問題」についてまとめた活動を想起し、単元の課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">単元の課題 「固有種が教えてくれること」を読んで学んだ資料の効果的な使い方进行いかして、A小の○年生に伝わりやすい文章を書こう。</div> ・範読を聞き、興味をもったこと・納得したことや疑問を交流した上で、学習計画を立てる。			①
2	・文章構成を捉えて筆者の論の進め方を確認し、要旨をまとめる。	①		
3	・資料と文章を読み取りながら要点をまとめる。		①	
4	・重要だと考える資料とその理由について話し合う。		①	
5	・資料の用い方の工夫について自分の考えをまとめ、文章の良さについて伝え合う。		①	①
6	・自分が調べる環境問題にあった統計資料を集め、自分の考えを書く。 (a) (b) (c)	②		
7	・「初め・中・終わり」の文章構成で、自分が書くことを整理する。	②		
8	・グラフや表を用いて、構成メモを書く。(a)	①		
9	・構成メモを基に、自分の考えを文章に表す。		②	①
他校	・A小の5年生に読んでもらい、コメントを記入してもらう。			
10	・A小の5年生のコメントを踏まえて修正し、書き上げた文章を読み合い、よかったところやアドバイスを伝え合う。		②	

* 活用するコンテンツ等 : (a) 教科書 p.160、161 の二次元コード (b) 環境省 こども環境省 (c) キッズすたっと

座席配置

